
特集：人々の生活実態・困難の多面的分析

相対的はく奪による健康診断の受診行動の考察： 生活と支え合いに関する調査（2017）を利用した分析

蓋 若琰*

抄 録

本研究は貧困・社会経済的格差をより全面的に反映する相対的はく奪指標の開発にかかわる研究に着目し、2017年度実施した「生活と支え合いに関する調査」のデータを用いて、相対的はく奪の視点も加えて健康診断の受診に影響する社会経済的要因を考察した。マルチレベル分析で被調査者全体及び年齢層、就業・非就業別で分析した結果、相対的はく奪の程度による影響は調査対象全員、65歳以下の者について有意であった一方で、高齢の者、就業している者、求職中の者、非求職・学生の者のようにサブグループを分けて見ると、各年齢層の生活・就業の様相、健康行動のパターンにかかわる影響要因（年齢、学歴、健康上の問題による制限、健康保険の加入、過去の受診・治療経験、就業・非就業、就業の者について正規雇用、勤務先の規模など）が確認できた。

キーワード：相対的はく奪、健康診断、受診行動、格差

社会保障研究 2019, vol. 4, no. 3, pp. 323-343.

はじめに

日本では最近、貧困にかかわる指標が先進諸国において劣ることが注目されている。貧困の測定は社会的価値と政策的文脈によって異なり、画一的なものではないが、一定の生活水準の維持に欠かせない資源の獲得力における格差・不公平、いわゆる「相対的貧困」の数値的指標での評価が先進諸国で広がっている。はく奪のアプローチを貧困の測定指標として最初に提起したのはイギリスのTownsendであり、所得のほかに、一定の生活水準を維持するための必需品、生活環境、公的サービスの利用、社会参加など生活の質を幅広くとら

え、より広く貧困の実態を評価できる（Townsend 1979, 阿部2014）。日本国内でもはく奪アプローチによる貧困測定指標の確立に向けて、大規模な公的調査を含め複数の社会調査を通して、はく奪指標の開発、貧困・社会経済的格差の実態、政策対策の研究が行われている（阿部2004, 阿部2006, 阿部2007, 阿部2011）。

貧困と社会経済的格差は健康格差を根本として生じる。健康の改善は単なる疾病の予防と治療、保健医療分野の問題でなく、社会構造と社会環境全体に深くかかっている。健康の社会決定要因として、教育・雇用・住環境、社会的環境による不安とストレス、社会的排除と社会的支援、栄養と食生活、健康に悪い生活習慣、さらに胎児期・

* 国立社会保障・人口問題研究所 室長

幼少期の健康と発達、逆境体験によるストレスの長期的影響などが挙げられる (Wilkinson & Marmot 2003, 近藤2014)。日本では、景気と雇用、女性の就労、家族構造、地域・世代のあり方などの社会の変容に伴い、地域、所得、職業による健康関連行動とその結果となる健康指標の差が過去の研究と公的調査で報告され、今後こうした健康格差がますます深刻化する恐れがある (石尾2017, Kanchanachitra et al 2017)。

健康格差が拡大する中、健康日本21 (第二次) は健康寿命の延伸のほかに、健康格差の縮小も全体目標として掲げた。先行の政策との最も大きな相違点は、健康づくりにおける個人レベルの取り組みだけでなく、社会環境の整備と改善の課題も明確化したことにあり、社会参加の機会の増加と健康のための資源 (保健・医療・福祉等サービス) へのアクセスの改善と公平性の確保によって社会環境の質の向上を図り、健康格差の縮小を目指している。生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上、健康を支え守るための社会環境の整備と生活習慣の改善において到達目標を設定して、各ライフステージの健康課題を網羅した (厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会2018)。

健康診断は健康増進と疾病の予防・早期発見のための有力な手段として、医療保険各法に基づいて医療保険者が行う一般健診、労働安全衛生法に基づいて事業者が労働者に提供する定期健診、老人保健法に基づいて自治体が行う老人健診などが実施されてきた。また、2008年4月より生活習慣病対策の一環として特定健康診査・特定保健指導が導入されて、健康日本21 (第二次) の展開に伴いさらに充実されつつある。一方で、このようなユニバーサル・カバレッジにもかかわらず、健康診断の受診行動は地域、所得、就業・職業、ジェンダーなどの社会経済的要因に影響される (木村2012, Fijita et al 2017)。前回・2012年度に実施した「生活と支え合いに関する調査」を用いた健康診断受診の意思決定にかかわる影響要因の分析もある。その結果は就業、会話頻度、所得、離職経験、離婚経験 (男性のみ)、子どもあり (男性のみ)

などの要因が壮年期から高齢期の個人の健康診断就診に有意に影響することが示された (泉田・黒田2014)。

しかしながら、より広い視点でとらえた貧困・社会経済的格差が健康行動に与える影響を検証する研究はいまだにない。また、健康日本21 (第二次) の進捗により、健康診断・特定健康診査の受診にかかわる社会経済的要因が前回の生活と支え合いに関する調査が実施された2012年より変化する可能性もある。そこで、本研究は国立社会保障・人口問題研究所が2017年度に実施した「生活と支え合いに関する調査」を用いて、相対的はく奪の視点も加えて健康診断の受診に影響する社会経済的要因を考察することを目的とする。同調査の規模とサンプリング方法に鑑みると、代表性のあるデータと考えられる。また、健康診断の受診行動を調べる最新の全国調査でもある。同調査報告書では有効回答の19,800人のうち29.7%が過去1年間に健康診断を受診しておらず、仕事の状況別・年齢階層別に健康診断の未受診を見ると、全体、65歳未満、65歳以上のいずれにおいても仕事をしている者の未受診率が最も低い一方で、65歳未満で仕事をしていない者の未受診率が高いことが指摘される。本研究では被調査者全体のほか、生活・就業、医療費・保健医療サービスの利用の特徴を鑑み、年齢層、就業・非就業別の健康診断未受診の状況を考察する。

データと方法

生活と支え合いに関する調査は、世帯構成と家計の実態、家族関係と社会経済状態の実態、社会保障給付などの公的な給付、社会的ネットワークなどの私的な支援の機能、年金、医療・介護の利用とあり方、個人の社会参加について調査し、社会保障及び人口問題に関する研究のための分析を行うとともに、厚生労働行政などにおける各種の施策に資する基礎資料を提供する。2017年の調査は国民生活基礎調査世帯名簿を用いて、国民生活基礎調査の調査地区から無作為に抽出した300調査地区内のすべての世帯の世帯主及び18歳以上の

世帯員を調査対象とした。調査票は世帯票と個人票があり、前者は10,369票（有効回収率69.1%）、後者は19,800票（有効回収率75.0%）となっている。医療機関の受診行動に関して、今回調査した19,800人の中、過去1年間受診や治療が必要と思われる病気やけがをした際に実際に必要な受診、治療をしなかった者の割合は3.3%であった。その理由について、最も多いのが「仕事など多忙で時間がなかったから」の64.8%で、次に「お金が払えなかったから」の19.9%、その他の理由の19.8%、「近くに病院・診療所がなかったから」の9.2%であった。なお、過去1年間健康診断を受け

なかった者は5,872人で、全体の29.7%であった。

本研究の分析において被説明変数として利用するのは過去1年間に、職場や学校での健診（人間ドックを含む）、自治体の健診（がん検診や40歳以上の方の基本健康検査）の受診状況についての回答であり、全体19,800票の中、13,640人（68.9%）が受診した、5,872人（29.7%）が受診しなかったと答えた。説明変数は①社会人口的属性、②就業・職業、③所得・経済状況、④健康状態と受診行動、⑤介護経験、⑥支え合いと社会的ネットワーク、⑦相対的はく奪の分野の変数を網羅した（図表1と図表2）。

図表1 変数リスト

		質問票にある当該質問と選択肢
社会人口的属性	年齢	出生年月
	性別	性別（1.男性、2.女性）
	婚姻	婚姻状況（1.未婚 2.配偶者あり 3.死別 4.離別）
	教育	最後に通った学校（1.小・中学校 2.高校 3.短大・高専 4.大学・大学院 5.その他）
	子どもの有無	子どもの有無（1.いる 2.いない）
就業・職業	現在の就業状況	現在、収入をとまなう仕事をしていますか。（1.仕事をしている 2.仕事をしていない（仕事を探している） 3.仕事をしていない（仕事を探していない、または学生である）
	勤め先での呼称	1.正規の職員・従業員 2.パート 3.アルバイト 4.労働者派遣事業所の派遣社員 5.契約社員・嘱託 6.その他
	勤め先の規模・官公庁の別	1.1-4人 2.5-29人 3.30-99人 4.100-299人 5.300-499人 6.500-999人 7.1000-4999人 8.5000人以上 9.官公庁
所得・経済状況	世帯所得	世帯所得の総額
	預貯蓄の有無	1.貯蓄あり 2.貯蓄なし
	借入金の有無	あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金などの生活のための借入金（住宅ローン、教育ローンなど）の残高合計額
	現在の暮らし向き	1.大変ゆとりがある 2.ややゆとりがある 3.普通 4.やや苦しい 5.大変苦しい
	家計のやりくり	世帯支出の負担感（1.とても大変 2.やや大変 3.大変でない）
	生活保護の受給	あなたの世帯では生活保護を受けていますか。（1.受けている 2.受けていない）
健康状態と受診行動	公的年金の加入	20歳以上60歳未満の方で公的年金を受給していない方に、あなたの公的年金への加入状況をお答えください（1.国民年金第1号被保険者（自営業者や学生等） 2.国民年金第2号被保険者（会社員や公務員等） 3.国民年金第3号被保険者（会社員や公務員等の配偶者） 4.公的年金に加入していない 5.自分がどの公的年金に加入しているのか、わからない）
	現在の健康状態	1.よい 2.まあよい 3.ふつう 4.あまりよくない 5.よくない
	健康の制限	過去6か月以上にわたって、周りの人が通常おこなっているような活動について、あなた自身の健康上の問題による制限がありましたか。（1.非常に制限があった 2.制限はあったがひどくはなかった 3.まったく制限はなかった）
	精神健康	K6質問票
	受診や治療が必要と思われるほどの病気やケガの有無	過去1年間に、病院や診療所での受診や治療が必要と思われるほどの病気やケガをしましたか。（1.常に受診・治療をした 2.受診・治療をしなかったことがある）
介護経験	国民健康保険の加入	あなたの世帯に、市町村の国民健康保険に加入している方はいますか。（1.ある 2.ない）
	現在の介護経験	1.している 2.していない
	過去の介護経験	1.ある 2.ない

図表2 変数リスト相対的はく奪

相対的はく奪の関連指標		質問票にある当該質問と選択肢	平均値	標準偏差
住居環境	水洗いトイレ	水洗いトイレある (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0361	0.1866
	浴室	浴室またはシャワー室がある (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0111	0.1049
	雨漏りなどの不具合	雨漏り、湿気、破損などの問題がある (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.1863	0.3894
	採光	窓から十分な光が入らない (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0809	0.2727
	狭さ	世帯の人数からすると手狭だ (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.1220	0.3273
	交通の利便性	交通の便が悪い (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.2384	0.4261
	騒音	近隣の騒音がひどい (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0874	0.2824
	汚染	大気汚染、悪臭がひどい (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0475	0.2127
	地域安全	地域の犯罪、暴力、荒し行為に困っている (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.0266	0.1610
	生活の利便性	病院、公共施設、買い物・生活施設が遠い (1.あてはまる 2.あてはまらない)	0.2231	0.4163
世帯の生活状況	食事	2日に1回以上、肉・魚を含む食事をとれる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0143	0.1186
	医者への受診	必要な時に医者にかかることができる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0180	0.1329
	歯医者への受診	必要な時に歯医者にかかることができる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0251	0.1563
	市販薬の購買	風邪薬・鎮痛剤・塗り薬などの市販の薬を買うことができる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0142	0.1183
	冠婚葬祭の出席	親戚の冠婚葬祭に出席できる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0273	0.1629
	交通費の支払い	普段の生活でバス代や電車代を払うことができる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0080	0.0890
	貯蓄	不意の出費に備えた貯蓄がある (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.1348	0.3415
	快適な温度	冷暖房などで家の中を快適な温度に保つことができる (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0349	0.1836
	火災報知器	火災報知器を設置している (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (その他の理由))	0.0303	0.1714
	耐久消費財の所有状況	ベッド・布団	家族全員分のベッドまたは布団がある。(1.ある 2.買えない 3.必要ない)	0.0041
洗濯機		家に洗濯機がある (1.ある 2.買えない 3.必要ない)	0.0014	0.0370
テレビ		家にテレビがある (1.ある 2.買えない 3.必要ない)	0.0015	0.0388
固定電話		家に固定電話がある (1.ある 2.買えない 3.必要ない)	0.0047	0.0685
車		自家用車がある (1.ある 2.買えない 3.必要ない)	0.0253	0.1569
基本的なライフライン	食料	あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、家族が必要とする食料がかえないことがありましたか (1.よくあった 2.ときどきあった 3.まれにあった 4.まったくなかった)	0.1071	0.3092
	衣料	あなたの世帯では、過去1年間にお金が足りなくて、家族が必要とする衣料がかえないことがありましたか (1.よくあった 2.ときどきあった 3.まれにあった 4.まったくなかった)	0.1240	0.3295
未払い・滞納の経験	電気料金の未払い	あなたの世帯では、過去1年間経済的な理由で公共料金の未払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。(1.あった 2.なかった 3.該当しない)	0.0208	0.1427
	ガスの未払い	同上	0.0193	0.1376
	水道料金の未払い	同上	0.0188	0.1360
	電話代の未払い	同上	0.0194	0.1378
	家賃の滞納	同上	0.0129	0.1128
	住宅ローンの滞納	同上	0.0064	0.0798
	住民税の滞納	同上	0.0294	0.1689
その他の債務不履行	同上	0.0264	0.1604	
個人のはく奪状況	保険加入	病気・ケガ・死亡などに備える保険 (生命保険、傷害保険など) に加入している。(1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (必要でない))	0.0655	0.2474
	仕事用のスーツ	仕事用のスーツがある (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (必要でない))	0.0148	0.1207
	携帯電話	携帯電話 (スマートフォンを含む) を持っている (1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (必要でない))	0.0100	0.0995
	年に一回の旅行	年に一回は泊りがけの旅行に行くことができる。(1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (必要でない))	0.1574	0.3642
	自分で自由に使えるお金	家族のためでなく、自分で使えるお金がある。(1.あてはまる 2.あてはまらない (金銭的理由) 3.あてはまらない (必要でない))	0.1172	0.3216

「年齢」について、65歳未満と65歳以上の分け方のほか、就業、医療費・保健医療サービスの利用の特徴によって、40歳未満、40～59歳、60～74歳、75歳以上という変数も作成した。「婚姻」について、「配偶者の有無」の変数を作成して検討した。「就業・非就業」について、現在の就業状況として質問され、仕事をしていると答えた者に対してさらに仕事の内容、勤めか自営かの別、勤め先での呼称、勤め先の規模・官公庁の別を聞いた。「等価世帯所得」は世帯単位で税引き後の所得を合算し、世帯人員数の平方根で割って算出した。また、それを10分位にして該当世帯に属する個人に割り当てて「等価世帯所得階級」の変数を、その中央値の50%以下を「低所得」の変数を作成した。「健康保険の有無」は、市町村の国民健康保険に加入している方、現在仕事をしている方、また病気・けが・死亡などに備える保険（生命保険、傷害保険など）に加入している項目に「あてはまる」と答えた方を「あり」、それ以外の方は「なし」にして作った変数である。「精神健康」は心理的ストレスを測定するために開発された6項目の尺度K6の得点を算出し、0～4点（所見なし）、5～9点（心理的ストレス反応相当）、10点以上（気分・不安障害相当）と区分して作成した変数である。

はく奪指標について、生活と支え合いに関する調査では住居環境、未払い・滞納の経験、世帯の生活状況、耐久消費財の所有状況、食料・衣料という基本的なライフライン、個人のはく奪状況といった複数の変数群を設けた（図表2）。また、「等価世帯所得」、「預貯金の有無」、「借入金の有無」、「生活保護の受給」のような所得・経済状況を反映する変数のほかに、「現在の暮らし向き」、世帯の支出の負担感・「家計のやりくり」で主観的困窮度の検討に用いる変数もある。本研究では上記の住居環境（トイレ、浴室、雨漏りなどの不具合、採光、狭さ、交通の利便性、騒音、汚染、地域安全、生活の利便性）、未払い・滞納の経験（電気料金の未払い、ガスの未払い、水道料金の未払い、電話代の未払い、家賃の滞納、住宅ローンの滞納、住民税の滞納、そのほかの債務不履行）、世帯の生活状況（肉・魚を含む食事、医者にかかれること、

歯医者にかかれること、市販薬の購買、冠婚葬祭の出席、交通費の支払い、貯蓄、快適な温度、火災報知器）、耐久消費財の所有状況（ベッド・布団、洗濯機、テレビ、電話、車）、基本的なライフライン（食料の買えない経験、衣料の買えない経験）、個人のはく奪状況（病気・けが・死亡などに備える保険、仕事用のスーツ、携帯電話、年に一回の旅行、自分で自由に使えるお金）の合計39変数を網羅するほか、これまでの国内のはく奪指標にかかわる研究結果（阿部2004、阿部2014）を参考して、本調査で聞いた39項目から最低限の生活水準にかかわる10変数（医者にかかれること、電話、歯医者にかかれること、病気・けが・死亡などに備える保険、浴室、冷暖房＝快適な温度、トイレ、冠婚葬祭の出席、交通費の支払い、貯蓄）、相対的貧困率を補完する生活困難指標の6変数（食料の買えない経験、衣料の買えない経験、電気料金の未払い、ガスの未払い、電話代の未払い、そのほかの債務不履行）も抽出して、それぞれ合成変数「相対的はく奪（全項目）」、「相対的はく奪（最低限の生活水準）」、「相対的はく奪（生活困難度）」を作成して検討した。その際に、前述した生活・所有状況に関する質問の答え「当てはまる/ある」を「0」、「あてはまらない/買えない/必要でない」を「1」、食料・衣料の買えない経験の答え「まったくなかった」を「0」、「よくあった/ときどきあった/まれにあった」を「1」、未払い・滞納の経験の答え「なかった/該当しない」を「0」、「あった」を「1」として合計した点数で新しい変数を作成した。合計点数が高いほどはく奪の程度が高いと考えられる。また、相対的はく奪の程度について、各項目の合計値の平均と標準偏差に基づいて、標準偏差の増加単位：+1SD、+2SD、+3SDとリファレンスとしての+1SD以下で「相対的はく奪（全項目）」、「相対的はく奪（最低限の生活水準）」、「相対的はく奪（生活困難度）」それぞれにおいて新しい変数を作成した。

分析では「健康診断の受診の有無」について、調査データの階層構造（都道府県、市町村）を考慮してマルチレベル混合効果ロジスティック回帰を行った。単変量分析で有意差が認められた説明

変数を適宜にダミー変数に変換してモデルに投入し、「受診しなかった」ことと比べた「受診した」ことのオッズ比を変数ごとに算出した。オッズ比は1より大きい場合はレファレンスと比べて健康診断受診の可能性が高く、1より小さい場合はレファレンスと比べて受診の可能性が低いことになる。はく奪指標について、「相対的はく奪（全項目）」、「相対的はく奪（最低限の生活水準）」、「相対的はく奪（生活困難度）」の程度の変数をそれぞれモデルに入れて検討した。この多変量解析では、被調査者全員のほか、高齢の者（65歳以上）とそうでない者、また就業している者については40歳未満、40～59歳、60～74歳、75歳以上ごとにモデルを作成し、健康診断未受診の影響要因を検討した。

結果

図表3は本調査の被調査者の社会人口的属性を、図表4は社会人口的属性、就業・職業、所得・経済状況、健康状態と受診行動、介護経験の変数ごとに健康診断受診の状況をまとめたものである。年齢層を見ると、40-59歳が最も受診率が高かった。また、男性、学歴が高い者、配偶者のいる者、現在就業している者、正規雇用、勤め先の規模が大きい者、健康保険のある者、預貯蓄のある者、借入金のある者、生活保護の受けていない者、家計のやりくり負担がない者、健康状態が比較的に良い者、健康上の問題による制限がまったくない者、精神的に健康な者、過去1年間に受診や治療の経験がある者は受診率が相対的に高かった。単変量解析で有意差が認められた変数の年齢、性別、配偶者有無、学歴、等価世帯所得、生活保護の受給、健康状態、健康上の問題による制限、精神的な健康、過去1年間の受診・治療歴、健康保険の有無、預貯蓄の有無、現在の就業状況と相対的はく奪の程度をマルチレベル混合効果ロジスティック回帰のモデルに入れた。

また、相対的はく奪の程度と健康状態、生活困難を表す指標との関連性も検討した。その結果、はく奪指標合計得点の標準偏差が1単位増加する

図表3 社会人口的属性

		頻度	%	
地域	北海道	895	4.52	
	東北	1,469	7.42	
	北関東	1,225	6.19	
	東京圏	5,077	25.64	
	中部・北陸	2,103	10.62	
	中京圏	1,925	9.72	
	大阪圏	2,715	13.71	
	京阪周辺	507	2.56	
	中国	1,204	6.08	
	四国	497	2.51	
	九州・沖縄	2,183	11.03	
	年齢	10代	377	1.9
		20代	1,752	8.85
30代		2,600	13.13	
40代		3,375	17.05	
50代		3,127	15.79	
60代		4,051	20.46	
70代		2,939	14.84	
80代		1,380	6.97	
90代・その以上		199	1.01	
性別		男性	9,446	47.71
	女性	10,354	52.29	
婚姻	未婚	4,055	20.48	
	配偶者あり	12,669	63.98	
	死別	1,563	7.89	
	離別	1,118	5.65	
教育	無回答	395	1.99	
	小中学校	2,395	12.1	
	高校	7,931	40.06	
	短大・高専	2,016	10.18	
	大学・大学院	4,819	24.34	
	その他	2,062	10.41	
	無回答	577	2.91	
	等価世帯所得	第I十分位	1,394	7.04
第II十分位		1,488	7.52	
第III十分位		1,698	8.58	
第IV十分位		1,597	8.07	
第V十分位		1,860	9.39	
第VI十分位		1,849	9.34	
第VII十分位		1,947	9.83	
第VIII十分位		2,145	10.83	
第IX十分位		2,263	11.43	
第X十分位		2,105	10.63	
不明		1,454	7.34	
子どもの有無	いる	13,629	68.83	
	いない	5,245	26.49	
	無回答	926	4.68	
合計		19,800	100	

図表4 健康診断受診の概観

		受診しなかった	%	受診した	%	合計	p値		
年齢	40歳以下	1,470	31.4	3,207	68.6	4,677	<0.001		
	40-59歳	1,596	24.7	4,866	75.3	6,462			
	60-74歳	1,655	29.7	3,919	70.3	5,574			
	75歳以上	1,151	41.1	1,648	58.9	2,799			
性別	男性	2,472	26.5	6,854	73.5	9,326	<0.001		
	女性	3,400	33.4	6,786	66.6	10,186			
学歴	小・中学校	973	42.0	1,346	58.0	2,319	<0.001		
	高校	2,414	30.8	5,432	69.2	7,846			
	短大・高专	577	28.7	1,433	71.3	2,010			
	大学・大学院	1,022	21.3	3,777	78.7	4,799			
	その他	658	32.2	1,383	67.8	2,041			
配偶者の有無	いない	2,303	34.7	4,333	65.3	6,636	<0.001		
	いる	3,445	27.4	9,113	72.6	12,558			
子どもの有無	いない	1,587	30.5	3,610	69.5	5,197	0.11		
	いる	3,959	29.3	9,533	70.7	13,492			
現在の就業状況	就業	2,568	21.9	9,134	78.1	11,702	<0.001		
	非就業（求職）	644	50.1	642	49.9	1,286			
	非就業（非求職・学生）	2,244	40.9	3,238	59.1	5,482			
就業の場合：勤め先での呼称	正規	861	14.0	5,280	86.0	6,141	<0.001		
	パート	584	28.8	1,447	71.3	2,031			
	アルバイト	179	43.9	229	56.1	408			
	派遣	61	30.4	140	69.7	201			
	契約・嘱託	133	15.1	748	84.9	881			
	その他	190	33.2	383	66.8	573			
就業の場合：勤め先の規模・官公庁の別	1-4人	447	45.3	539	54.7	986	<0.001		
	5-29人	650	28.5	1,633	71.5	2,283			
	30-99人	305	17.6	1,427	82.4	1,732			
	100-299人	197	13.0	1,322	87.0	1,519			
	300-499人	97	13.5	623	86.5	720			
	500-999人	76	12.1	554	87.9	630			
	1000-4999人	71	8.7	748	91.3	819			
	5000人以上	62	8.3	683	91.7	745			
	官公庁	36	5.9	570	94.1	606			
	健康保険の有無	なし	513	58.5	364	41.5		877	<0.001
	あり	5,359	28.8	13,276	71.2	18,635			
預貯蓄の有無	貯蓄なし	1,678	38.4	2,688	61.6	4,366	<0.001		
	貯蓄あり	3,544	26.8	9,669	73.2	13,213			
借入金の有無	借入金なし	3,795	31.0	8,434	69.0	12,229	<0.001		
	借入金あり	1,577	27.1	4,254	73.0	5,831			
生活保護の受給	受けている	148	67.0	73	33.0	221	<0.001		
	受けていない	5,505	29.6	13,100	70.4	18,605			
	無回答	219	31.9	467	68.1	686			
家計のやりくり	とても重い	1,090	36.6	1,890	63.4	2,980	<0.001		
	やや重い	2,511	30.0	5,851	70.0	8,362			
	負担はない/感じていない	1,880	26.5	5,203	73.5	7,083			
	よい	1,252	27.3	3,334	72.7	4,586			
健康状態	まあよい	1,138	26.0	3,239	74.0	4,377	<0.001		
	普通	2,153	29.8	5,072	70.2	7,225			
	あまりよくない	1,053	38.6	1,674	61.4	2,727			
	よくない	261	46.6	299	53.4	560			
	健康上の問題による制限	442	47.1	497	52.9	939		<0.001	
非常に制限があった	1,219	35.1	2,251	64.9	3,470				
制限はあったがひどくはなかった	4,121	27.7	10,772	72.3	14,893				
精神的な健康	所見なし	2,718	27.7	7,105	72.3	9,823	<0.001		
	心理的ストレス反応相当	1,721	30.1	4,001	69.9	5,722			
	気分・不安障害相当	1,269	36.0	2,260	64.0	3,529			
現在の介護経験	していない	5,150	29.9	12,100	70.1	17,250	0.662		
	している	543	30.4	1,246	69.7	1,789			
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無	しなかった	3,185	31.8	6,829	68.2	10,014	<0.001		
	した	2,607	28.1	6,671	71.9	9,278			

と、健康診断の未受診のほか、健康状態が「よくない」こと、精神的な健康の面の「気分・不安障害相当」、家計のやりくりが「とても重い」と感じること、生活保護を受けていること、低所得世帯の割合も高くなった（図表5）。

図表6は被調査者全員を対象とした多変量解析の結果である。年齢層において、40歳以下をレファレンスとして、40-59歳、60-74歳、75歳以上はいずれも健康診断の受診状況が有意に良かった。男性と比べて、女性の受診のオッズ比が低かった。配偶者有無について、「相対的はく奪（最低限生活水準）」を相対的はく奪の程度指標として入れたモデルでは、配偶者のいる者の受診状況が比較的に良いと見えた一方で、「相対的はく奪（全項目）」、「相対的はく奪（生活困難度）」のモデルではその有意差はなかった。学歴について、小・中卒の者をレファレンスとして、高卒及びその以上の者の受診状況が有意に良かった。等価世帯所得において、最下位の第1十分位と比べて、第6十分位及びその以上は受診状況が有意に良かった。生活保護の有無による健康診断受診の有意差が見えなかった。健康状態による影響について、「相対的はく奪（全項目）」のモデルでは有意差が見えなかったが、「相対的はく奪（最低限生活水準）」、「相対的はく奪（生活困難度）」のモデルでは健康状態の良い者と比べて、あまりよくない者の受診率が有意に低いことが見えた。健康上に非常に制限があった者と比べて、制限が少ないほど受診状況が良かった。精神的な健康について、三つのモデルでいずれも有意な影響が見えなかった。過去1年間で受診・治療経験のあった者と比べて、なかった者の受診のオッズ比が比較的に低かった。健康保険のない者をレファレンスとして、ある者の受診が良かった。世帯貯蓄がない者と比べて、ある者の受診が良かった。家計のやりくりによる影響が見えなく、主観的に家計負担がとても重い者と比べて、負担がやや重い者、負担がない者の受診において有意差がなかった。就業状況について、就業の者をレファレンスとして、非就業の者、特に求職中の者の受診状況が比較的に悪かった。相対的はく奪について、相対的はく奪の程度がひ

どいほど健康診断の受診状況が悪くなるが、標準偏差1単位以下と比べて、「相対的はく奪（全項目）」のモデルでは標準偏差3単位以上、「相対的はく奪（最低限生活水準）」のモデルでは標準偏差1～2単位において有意差が見えなかった。

同じようなモデルを高齢の者及び高齢でない者においてそれぞれ検討した（図表7と図表8）。高齢の者において、配偶者のいる者、学歴が大学・大学院の者、健康上の問題による制限が比較的にない者、健康保険のある者、預貯蓄のある者の健康診断の受診状況がそれぞれのレファレンスと比べて良く、過去1年間受診・治療の経験のなかった者、非就業の者が比較的に健康診断の受診状況が悪かった。一方で、性別、等価世帯所得による有意差が見られなかった。「相対的はく奪（全項目）」のモデルでは相対的はく奪の程度が有意に健康診断の受診に影響したものの、「相対的はく奪（最低限生活水準）」、「相対的はく奪（生活困難度）」のモデルではいずれも有意差がないが、家計のやりくりが重くないほど健康診断の受診が良いと見られた（図表7）。高齢でない者において、配偶者のいる者、学歴が比較的に高い者、等価世帯所得の比較的に高い者、健康上の問題による制限のない者、健康保険のある者、預貯蓄のある者、現在就業する者が健康診断の受診状況が良く、女性、過去1年間の受診・治療経験のなかった者、相対的はく奪の程度がひどい者の健康診断の受診状況が比較的に悪いことが分かった（図表8）。

また、就業している者を年齢別に検討した（図表9、図表10と図表11）。40歳以下では、配偶者のいる者、等価世帯所得の比較的に高い者、健康状態のまあよい者、勤め先の規模が大きい、もしくは官公庁で勤務する者が健康診断の受診状況が良く、過去1年間受診・治療の経験のなかった者、正規雇用以外の者が健康診断の受診状況が比較的に悪いと見られたが、相対的はく奪の程度による有意な影響は見られなかった（図表9）。40～59歳については健康診断の受診状況に有意に影響する要素は過去1年間の受診・治療経験、勤め先での呼称、勤め先の規模・官公庁の別であり、相対的はく奪の程度による影響は「相対的はく奪（生活困

図表5 相対的はく奪と健康状態、生活困難を表す指標の関連性

			0	%	1	%	2	%	3	%	p値
相対的はく奪 (全項目)	健康診断の受診	受診しなかった	3,971	27.7	346	39.1	220	48.7	156	45.6	<0.001
		受診した	10,376	72.3	538	60.9	232	51.3	186	54.4	
	健康状態	よい	3,603	25.0	186	20.9	77	16.9	58	16.9	<0.001
		まあよい	3,426	23.7	172	19.3	76	16.6	56	16.3	
		普通	5,272	36.5	341	38.3	182	39.8	125	36.4	
		あまりよくない	1,798	12.5	161	18.1	91	19.9	77	22.5	
		よくない	335	2.3	31	3.5	31	6.8	27	7.9	
	精神的な健康	所見なし	7,774	54.7	326	37.3	132	29.3	86	25.8	<0.001
		心理的ストレス反応相当	4,206	29.6	288	32.9	152	33.8	90	27.0	
		気分・不安障害相当	2,242	15.8	261	29.8	166	36.9	158	47.3	
	家計のやりくり	とても重い	72	0.5	16	1.8	23	5.0	18	5.2	<0.001
		やや重い	14,256	98.5	860	96.5	435	94.4	316	91.9	
		負担はない/感じていない	147	1.0	15	1.7	3	0.7	10	2.9	
	生活保護の受給	受けている	1,420	10.0	385	44.0	266	58.1	251	73.8	<0.001
		受けていない	6,466	45.6	419	47.8	178	38.9	80	23.5	
無回答		6,306	44.4	72	8.2	14	3.1	9	2.7		
低所得世帯	低所得世帯でない	11,572	83.2	630	74.2	250	56.7	183	55.5	<0.001	
	低所得世帯である	2,335	16.8	219	25.8	191	43.3	147	44.6		
相対的はく奪 (最低限生活水準)	健康診断の受診	受診しなかった	4,559	28.4	529	36.6	104	40.6	180	51.4	<0.001
		受診した	11,487	71.6	916	63.4	152	59.4	170	48.6	
	健康状態	よい	3,951	24.4	251	17.2	45	17.4	72	20.6	<0.001
		まあよい	3,746	23.2	278	19.0	48	18.5	64	18.3	
		普通	5,943	36.7	574	39.3	109	42.1	126	36.0	
		あまりよくない	2,137	13.2	282	19.3	46	17.8	65	18.6	
		よくない	402	2.5	75	5.1	11	4.3	23	6.6	
	精神的な健康	所見なし	8,633	54.4	484	34.1	80	31.8	100	28.9	<0.001
		心理的ストレス反応相当	4,699	29.6	474	33.4	79	31.4	100	28.9	
		気分・不安障害相当	2,544	16.0	463	32.6	93	36.9	146	42.2	
	家計のやりくり	とても重い	107	0.7	47	3.2	9	3.5	17	4.8	<0.001
		やや重い	15,895	97.9	1,388	94.7	249	95.8	323	92.0	
		負担はない/感じていない	232	1.4	30	2.1	2	0.8	11	3.1	
	生活保護の受給	受けている	1,673	10.6	687	48.5	143	56.8	243	72.5	<0.001
		受けていない	7,202	45.8	688	48.6	109	43.3	85	25.4	
無回答		6,858	43.6	42	3.0	0	0.0	7	2.1		
低所得世帯	低所得世帯でない	12,682	82.0	929	67.7	154	62.9	193	56.6	<0.001	
	低所得世帯である	2,793	18.1	443	32.3	91	37.1	148	43.4		
相対的はく奪 (生活困難度)	健康診断の受診	受診しなかった	4,458	27.5	339	43.9	147	48.4	210	51.5	<0.001
		受診した	11,737	72.5	434	56.1	157	51.6	198	48.5	
	健康状態	よい	4,029	24.8	126	16.1	42	13.8	54	13.2	<0.001
		まあよい	3,798	23.4	160	20.5	46	15.1	64	15.6	
		普通	5,996	36.9	306	39.1	111	36.5	145	35.4	
		あまりよくない	2,056	12.6	156	20.0	88	29.0	116	28.3	
		よくない	389	2.4	34	4.4	17	5.6	31	7.6	
	精神的な健康	所見なし	8,615	53.7	296	38.2	87	29.6	96	23.8	<0.001
		心理的ストレス反応相当	4,817	30.1	247	31.9	77	26.2	123	30.5	
		気分・不安障害相当	2,598	16.2	232	29.9	130	44.2	184	45.7	
	家計のやりくり	とても重い	68	0.4	39	5.0	24	7.9	33	8.0	<0.001
		やや重い	16,034	98.4	738	93.9	276	90.8	367	89.3	
		負担はない/感じていない	200	1.2	9	1.2	4	1.3	11	2.7	
	生活保護の受給	受けている	1,873	11.8	334	43.6	177	60.2	293	73.3	<0.001
		受けていない	7,264	45.7	374	48.8	111	37.8	99	24.8	
無回答		6,755	42.5	59	7.7	6	2.0	8	2.0		
低所得世帯	低所得世帯でない	12,931	82.7	454	60.9	148	51.2	206	53.1	<0.001	
	低所得世帯である	2,703	17.3	292	39.1	141	48.8	182	46.9		

図表7 健康診断受診の影響要因（高齢者でない）

	相対的はく奪（全項目）		相対的はく奪（生活困難度）		相対的はく奪（最低生活水準）	
	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値
健康診断の受診	ref.		ref.		ref.	
性別						
男性	0.7473533	<0.001	0.7744663	<0.001	0.7706278	<0.001
女性	ref.		ref.		ref.	
配偶者の有無						
いない	1.155756	0.008	1.037958	1.286822	1.131319	0.019
いる	ref.		ref.		ref.	
学歴						
小・中学校	1.290131	0.074	0.9752798	1.706827	1.399041	0.012
高校	1.354178	0.051	0.996031	1.835577	1.424203	0.016
短大・高専	1.893589	<0.001	1.415942	2.532362	2.079003	<0.001
大学・大学院	1.048747	0.755	0.7774647	1.414687	1.166685	0.297
その他	ref.		ref.		ref.	
等価世帯所得						
第I十分位	0.8321068	0.202	0.6275173	1.103399	0.740494	0.027
第II十分位	0.8923815	0.428	0.6733269	1.182701	0.8334367	0.18
第III十分位	1.238119	0.138	0.9333621	1.642383	1.083085	0.56
第IV十分位	1.022789	0.873	0.775202	1.349451	0.8326076	0.601
第V十分位	1.31977	0.049	1.001798	1.386666	1.154375	0.282
第VI十分位	1.428291	0.001	1.089107	1.873108	1.33458	0.029
第VII十分位	1.65788	<0.001	1.265586	2.171773	1.494401	0.002
第VIII十分位	1.937917	<0.001	1.481397	2.535121	1.762932	<0.001
第IX十分位	2.072391	<0.001	1.572697	2.730853	1.954087	<0.001
第X十分位	ref.		ref.		ref.	
生活保護の受給						
受けている	0.6281784	0.237	0.2904774	1.368481	0.8767176	0.709
受けていない	0.6816157	0.407	0.2753155	1.687519	1.001324	0.997
無回答	ref.		ref.		ref.	
健康状態						
よい	0.7051289	0.05	0.4969768	1.000463	1.131746	0.071
まあよい	1.06475	0.923	0.8833109	1.020297	0.8840971	1.335847
普通	0.9465195	0.623	0.7602113	1.178487	0.9294783	0.491
あまりよくない	0.9931422	0.977	0.625795	1.576126	1.088189	0.713
よくない	ref.		ref.		ref.	
健康上の問題による制限						
非制限があった	1.357042	0.082	0.9625033	1.913307	1.322591	0.094
制限があったがひどくはなかった	1.602106	0.006	1.147458	2.236895	1.639055	0.002
まったく制限はなかった	ref.		ref.		ref.	
精神的な健康						
見えない	0.996645	0.956	0.8842138	1.123372	0.9792019	0.719
心理的ストレス反応相当	0.8808818	0.078	0.7648945	1.014457	0.8690006	0.041
気分・不安障害相当	0.6487778	<0.001	0.5792567	0.7266426	0.6191684	<0.001
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無	ref.		ref.		ref.	
健康保険の有無						
なし	2.191984	<0.001	1.555966	3.08798	2.132124	<0.001
あり	ref.		ref.		ref.	
預貯金の有無						
貯蓄なし	1.18534	0.009	1.04255	1.347087	1.236273	0.001
貯蓄あり	ref.		ref.		ref.	
家計のやりくり						
とても重い	0.9753377	0.741	0.8412346	1.130818	0.9962537	0.958
やや重い	1.025138	0.772	0.8668244	1.212365	1.036261	0.663
負担はない/感じていない	ref.		ref.		ref.	
現在の就業状況						
就業	0.2372466	<0.001	0.1950362	0.2885825	0.2373885	<0.001
非就業（求職）	0.3491178	<0.001	0.3046797	0.4000372	0.3534086	<0.001
非就業（非求職・学生）	ref.		ref.		ref.	
0	0.7254026	0.002	0.5895774	0.8925188	0.8832145	0.176
1	0.3828202	<0.001	0.443692	0.7655747	1.150986	0.049
2	0.7448921	0.062	0.5464596	1.01538	0.6467366	0.005
3	ref.		ref.		ref.	
相対的はく奪						
0	0.7015414	0.002	0.7015414	0.002	0.7015414	0.002
1	0.6292624	0.007	0.6292624	0.007	0.6292624	0.007
2	0.6552333	0.006	0.6552333	0.006	0.6552333	0.006
3	0.4851538	0.004	0.4851538	0.004	0.4851538	0.004

図表8 健康診断受診の影響要因(高齢者)

	相対的はく奪(全項目)		相対的はく奪(生活困難度)		相対的はく奪(最低生活水準)	
	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値
健康診断の受診						
性別						
男性	ref.		ref.		ref.	
女性	1.087129	0.302	1.07018	0.371	1.064202	0.417
配属者の有無						
いない	ref.		ref.		ref.	
いる	1.408365	<0.001	1.186659	<0.001	1.401432	<0.001
学歴						
小・中学校	ref.		ref.		ref.	
高校	1.195408	0.054	0.9969175	1.433418	1.182108	0.054
短大・高専	1.339428	0.094	0.9518315	1.884638	1.216659	0.229
大学・大学院	1.518818	0.001	1.178994	1.956591	1.48278	0.001
その他	1.591762	0.014	1.098691	2.306114	1.406014	0.054
等価世帯所得						
第1十分位	ref.		ref.		ref.	
第2十分位	1.198009	0.333	0.8312315	1.79625	1.182109	0.323
第3十分位	0.837489	0.282	0.6063408	1.159738	0.821843	0.196
第4十分位	1.380819	0.063	0.9826122	1.940402	1.228498	0.196
第5十分位	1.224755	0.219	0.8862609	1.692531	1.135549	0.408
第6十分位	1.262614	0.168	0.9065121	1.758601	1.1643	0.336
第7十分位	1.126058	0.503	0.7955426	1.593889	1.03235	0.847
第8十分位	1.169223	0.387	0.8206452	1.663664	1.176256	0.337
第9十分位	1.266897	0.21	0.8751267	1.834343	1.204745	0.295
第X十分位	1.261697	0.262	0.8408704	1.893132	1.283025	0.203
生活保護の受給						
受けている	ref.		ref.		ref.	
受けていない	1.665071	0.143	0.8410894	3.298276	1.469277	0.219
無回答	1.567341	0.405	0.544738	4.509611	1.590704	0.333
健康状態						
よい	ref.		ref.		ref.	
まあよい	0.9441255	0.684	0.7157752	1.245325	0.9854976	0.675
普通	0.9581045	0.745	0.7410323	1.239951	0.9728189	0.824
あまりよくない	0.7910209	0.14	0.5792882	1.080143	0.801677	0.139
よくない	0.8190809	0.404	0.5126602	1.308651	0.8996884	0.636
健康上の問題による制限						
非限に制限があった	ref.		ref.		ref.	
制限があったがひどくはなかった	1.464885	0.012	1.088119	1.972135	1.604918	0.001
まったく制限はなかった	ref.		ref.		ref.	
精神的な健康						
所見なし	ref.		ref.		ref.	
心理的ストレス反応相当	0.9446534	0.509	0.7976241	1.118785	0.9752025	0.788
気分・不安障害相当	0.8637687	0.361	0.7022879	1.137457	0.9283672	0.516
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無						
なかった	ref.		ref.		ref.	
した	0.6457125	<0.001	0.5477638	0.7612567	0.6291499	<0.001
健康保険の有無						
なし	ref.		ref.		ref.	
あり	1.670519	0.001	1.225889	2.276416	1.592033	0.003
預貯金の有無						
貯蓄なし	ref.		ref.		ref.	
貯蓄あり	1.332195	0.012	1.064926	1.666542	1.390434	0.002
家計のやりくり						
とても重い	ref.		ref.		ref.	
やや重い	1.196014	0.2	0.9065884	1.572634	1.317903	0.029
負担はない/感じていない	1.18454	0.246	0.8896401	1.571194	1.35289	0.023
現在の就業状況						
就業	ref.		ref.		ref.	
非就業(求職)	0.7150189	0.026	0.531763	0.9614284	0.7515407	0.041
非就業(非求職・学生)	0.6375237	<0.001	0.5311133	0.7652538	0.6729357	<0.001
相対的はく奪						
0	ref.		ref.		ref.	
1	0.6390837	0.012	0.4513634	0.9049045	0.8983147	0.533
2	0.5463192	0.019	0.328979	0.9072482	0.9313163	0.805
3	1.227585	0.565	0.6101504	2.469825	1.192012	0.261

図表9 健康診断受診の影響要因（働く方、40歳以下）

性別	健康診断の受診	相対的はく奪（全項目）		相対的はく奪（生活困難度）		相対的はく奪（最低生活水準）	
		Odds Ratio ref.	p値	Odds Ratio ref.	p値	Odds Ratio ref.	p値
男性	健康診断の受診	0.8952927	0.377	0.7004969	1.144258	0.9873804	1.24489
	女性	ref.		ref.		ref.	
配属者の有無	いない	1.344579	0.016	1.066316	1.711507	1.33645	0.013
	小・中学校	ref.		ref.		ref.	
学歴	高校	1.19079	0.666	0.538624	2.631434	1.108914	0.791
	短大・高等	1.349332	0.485	0.5814106	3.131517	1.264013	0.571
	大学・大学院	1.208662	0.646	0.53963	2.704427	1.233415	0.597
	その他	0.9653192	0.991	0.4412362	2.245193	1.035727	0.593
	第10分位	1.695408	0.243	0.690988	4.111659	1.51194	0.319
	第9分位	1.631296	0.135	0.815161	4.576226	1.88828	0.114
	第8分位	3.128758	0.01	1.318226	7.423987	2.70666	0.014
	第7分位	1.959938	0.116	0.847173	4.532999	1.781774	0.142
	第6分位	2.293943	0.063	0.987768	5.357339	2.101031	0.061
	第5分位	2.609545	0.024	1.135083	5.99317	2.427708	0.023
等価世帯所得	第4分位	3.886766	0.002	1.69023	9.051375	3.840065	0.001
	第3分位	3.196333	0.006	1.392998	7.332415	3.014841	0.005
	第2分位	2.127926	0.077	0.9217898	4.912256	2.197883	0.046
	第1分位	ref.		ref.		ref.	
	受け替えている	ref.		ref.		ref.	
生活保護の受給	受けていない	1.25774	0.999	0.0321748	47.46379	0.986264	0.993
	無回答	2.23716	0.681	0.048309	103.2146	1.883935	0.692
健康状態	よい	ref.		ref.		ref.	
	まあよい	1.384667	0.028	1.035928	1.851086	1.430483	0.011
健康上の問題による制限	普通	1.129544	0.388	0.8517956	1.497859	1.139081	0.28
	あまりよくない	0.830384	0.669	0.4983732	1.561542	0.864291	0.589
	あまりよくない	2.483683	0.139	0.7056292	12.21356	3.163824	0.088
	非常に制限があった	0.9807287	0.984	0.3538711	2.768134	1.00081	0.999
精神的な健康	見なし	0.9785985	0.985	0.380275	2.595068	1.101919	0.829
	心理的ストレス反応相当	0.9266844	0.577	0.709075	1.211192	0.9315121	0.584
過去1年間に、病院や診療所で の受診や治療の有無	なし	0.9348541	0.66	0.6925391	1.261954	0.8885614	0.414
	あった	ref.		ref.		ref.	
予防者の有無	貯蓄なし	0.7156891	0.011	0.5323008	0.9259041	0.6775556	0.002
	貯蓄あり	1.193812	0.214	0.9030022	1.578276	1.28856	0.058
家族のやりくり	とても重い	1.079903	0.645	0.7784644	1.498067	1.083894	0.601
	やや重い	1.095998	0.613	0.7612707	1.588288	1.11716	0.533
相対的はく奪	負担はない/感じていない	ref.		ref.		ref.	
	0	0.7014904	0.129	0.4439448	1.108446	1.034129	0.866
就業の場合：勤め先の呼称 の別	1	0.5854329	0.057	0.3376543	1.015037	0.988929	0.978
	2	0.5282767	0.068	0.273284	1.021195	0.7007362	0.27
	3	ref.		ref.		ref.	
就業の場合：勤め先の規模・官 公庁の別	正職	0.3550794	<0.001	0.263178	0.497995	0.3439613	<0.001
	アルバイト	0.1518143	<0.001	0.0917541	0.2511886	0.1637786	<0.001
	派遣	0.3657974	0.003	0.1890349	0.7078466	0.3590323	0.001
	契約・嘱託	0.6869673	0.089	0.4436948	1.03885	0.6915037	0.078
	その他	0.4995166	0.037	0.2270401	0.9525812	0.4302334	0.017
	5-29人	4.02439	<0.001	2.574376	6.291122	3.927562	<0.001
	30-99人	6.652911	<0.001	4.133697	10.70742	6.410995	<0.001
	100-299人	10.05889	<0.001	6.082178	16.63244	9.053943	<0.001
	300-499人	10.23593	<0.001	5.745888	18.23465	8.594372	<0.001
	500-999人	9.679331	<0.001	5.237331	17.86513	8.528659	<0.001
1000-4999人	11.35749	<0.001	6.265173	20.58884	10.30848	<0.001	
5000人以上	14.57694	<0.001	7.417398	28.62355	13.96345	<0.001	
官公庁	12.58429	<0.001	5.946493	26.63153	12.51341	<0.001	

図表10 健康診断受診の影響要因（働く方、40-60歳）

	健康診断の受診		95%信頼区間		相対的はく奪（生活困窮度）		95%信頼区間		相対的はく奪（最低生活水準）	
	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値
性別										
男性	1.24797	0.125	0.9450379	1.587372	1.163895	0.222	0.9122344	1.484682	1.197266	0.15
女性	ref.				ref.			ref.	ref.	
配偶者の有無										
いない	1.242572	0.683	0.9723678	1.587861	1.177383	0.166	0.9346528	1.483654	1.125184	0.325
いる	ref.				ref.			ref.	ref.	
学歴										
小・中学校	0.866617	0.677	0.4422846	1.698135	1.183586	0.57	0.6619946	2.116146	1.172539	0.594
高校	1.248855	0.542	0.6111071	2.552556	1.694148	0.098	0.907515	3.162935	1.622856	0.131
短大・高専	1.040776	0.911	0.5161351	2.098705	1.490885	0.2	0.8096384	2.744674	1.491024	0.204
大学・大学院	0.8488661	0.652	0.4162388	1.731154	1.198061	0.367	0.6449339	2.225376	1.134953	0.691
その他	ref.				ref.			ref.	ref.	
等価世帯所得										
第1十分位	1.041432	0.925	0.4449518	2.437522	1.007007	0.986	0.4568303	2.192946	1.130542	0.759
第2十分位	1.137623	0.77	0.479868	2.697299	1.089021	0.871	0.4790897	2.584624	1.387599	0.418
第3十分位	1.353381	0.49	0.5731001	3.196968	1.381182	0.429	0.6203155	3.072754	1.480576	0.332
第4十分位	1.31357	0.324	0.5682006	3.036722	1.28128	0.332	0.5895465	2.785591	1.408435	0.384
第5十分位	1.505097	0.312	0.6671514	3.57157	1.439921	0.366	0.6580988	3.111286	1.597622	0.233
第6十分位	1.663889	0.229	0.7257607	3.814653	1.697478	0.18	0.7828484	3.681642	1.825481	0.124
第7十分位	1.239671	0.496	0.5885819	3.018038	1.294064	0.507	0.6046232	2.769663	1.469784	0.317
第8十分位	2.241515	0.057	0.9776435	5.139284	2.188127	0.047	1.011622	4.732893	2.3843	0.026
第9十分位	1.868791	0.107	0.862835	4.58353	1.994475	0.082	0.9158911	4.343237	2.12176	0.055
第10十分位	ref.				ref.			ref.	ref.	
生活保護の受給										
受けている	0.1828069	0.201	0.0135256	2.47111	0.1786006	0.16	0.0161219	1.97856	0.5919114	0.625
受けていない	0.1948338	0.252	0.0118577	3.202653	0.2186849	0.247	0.0167381	2.869681	0.730531	0.909
無回答	ref.				ref.			ref.	ref.	
健康状態										
よい	1.015364	0.916	0.7651866	1.347337	0.9531954	0.727	0.7285477	1.247113	0.9494422	0.706
まあよい	1.026651	0.847	0.7864211	1.340265	0.9751214	0.845	1.254542	0.965974	0.975	0.7728627
普通	1.026157	0.911	0.6523264	1.614218	1.076279	0.749	0.6978784	1.648709	1.077333	0.738
あまりよくない	1.404133	0.578	0.4247966	4.641256	1.406751	0.57	0.4329433	4.570919	1.327134	0.643
よくない	ref.				ref.			ref.	ref.	
健康上の問題による制限										
非常に制限があった	0.9488187	0.9	0.4177478	2.185479	0.9238783	0.842	0.4228094	2.01741	1.112538	0.792
制限があったがひどくはなかった	1.21075	0.638	0.5462911	2.683397	1.226293	0.399	0.5738005	2.620763	1.320783	0.477
まった制限はなかった	ref.				ref.			ref.	ref.	
精神的な健康										
所見なし	0.845747	0.16	0.6683988	1.068569	0.8429945	0.129	0.6747129	1.051	0.8435576	0.134
心理的ストレス反応相当	0.7943415	0.13	0.5894221	1.076504	0.7694399	0.066	0.5821041	1.017065	0.7700502	0.068
気分・不安障害相当	ref.				ref.			ref.	ref.	
過去1年間に、病院や診療所で の受診や治療の有無	0.7173687	0.004	0.5738964	0.8067242	0.7016638	0.001	0.5875658	0.8674449	0.708893	0.001
予定なし	ref.				ref.			ref.	ref.	
予定あり	1.006079	0.963	0.7812061	1.295682	1.057454	0.643	0.8346752	1.338694	1.004688	0.97
家族のやりくり	1.116254	0.464	0.8343951	1.487996	1.073094	0.895	0.8211546	1.40233	0.994639	0.989
とても重い	1.122288	0.496	0.8049025	1.584623	1.122486	0.472	0.819294	1.537935	0.9976946	0.988
負担はない/感じていない	ref.				ref.			ref.	ref.	
0	0.8488559	0.434	0.5629437	1.279979	1.141112	0.564	0.7721448	1.607529	0.5760842	0.016
1	0.6367736	0.091	0.3771147	1.075218	0.538356	0.056	0.2866281	1.014821	0.464167	0.009
2	1.0256663	0.16	0.8255975	3.20105	1.043326	0.886	0.5835334	1.859673	0.9029604	0.741
3	ref.				ref.			ref.	ref.	
就業の場合：勤め先の呼称										
正規	0.2842553	<0.001	0.2114651	0.3821012	0.3115094	<0.001	0.296425	0.4104208	0.3173934	<0.001
アルバイト	0.1668602	<0.001	0.0619123	0.1844398	0.1309643	<0.001	0.0758589	0.2165543	0.1192472	<0.001
派遣	0.210188	<0.001	0.1115018	0.3962396	0.2272611	<0.001	0.1279807	0.4039129	0.22461	<0.001
契約・嘱託	0.3400561	<0.001	0.2238881	0.3240411	0.358297	<0.001	0.2595185	0.5724639	0.3745151	<0.001
その他	0.5965578	0.012	0.3515329	0.8811063	0.6324456	0.009	0.3624486	0.8677835	0.5844053	0.017
就業の場合：勤め先の規模：官 公庁の別										
5-29人	2.473833	<0.001	1.771065	3.454292	2.376295	<0.001	1.733214	3.257733	2.456365	<0.001
30-99人	5.858593	<0.001	4.012413	8.55423	5.783368	<0.001	4.65709	8.285771	5.861483	<0.001
100-999人	6.929783	<0.001	5.625795	11.31063	7.183767	<0.001	4.914143	10.50163	7.996009	<0.001
300-499人	6.929697	<0.001	4.20648	9.83081	6.182191	<0.001	3.887724	9.83081	6.530624	<0.001
500-999人	9.16986	<0.001	5.298801	15.86797	7.752148	<0.001	4.662655	12.88875	8.58853	<0.001
1000-4999人	16.76866	<0.001	9.19192	30.59076	14.2766	<0.001	4.85504	25.6631	16.30185	<0.001
5000人以上	9.51854	<0.001	5.60886	15.59268	8.94731	<0.001	5.46314	14.67785	9.36823	<0.001
官公庁	13.57175	<0.001	7.049016	26.13023	12.30749	<0.001	6.595184	22.96894	12.72977	<0.001

図表11 健康診断受診の影響要因（働く方、60-75歳）

	健康診断の受診		95%信頼区間		相対的はく奪（生活困難度）		95%信頼区間		相対的はく奪（最低生活水準）	
	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値
性別										
男性	0.7501845	0.168	0.5132977	1.122859	0.7649869	0.148	0.5308164	1.100445	0.8371839	0.336
女性	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
配属者の有無										
いない	1.16647	0.466	0.770892	1.765243	1.163939	0.423	0.8002236	1.69887	1.18515	0.362
いる	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
学歴										
小・中学校	1.258012	0.38	0.7533669	2.100697	1.267656	0.305	0.8095547	1.994691	1.371692	0.162
高校	1.583395	0.255	0.7180365	3.491661	1.684048	0.162	0.8104512	3.499309	1.72162	0.137
短大・高等	1.390577	0.298	0.7474824	2.586655	1.482434	0.172	0.8431526	2.606422	1.351226	0.283
大学・大学院	1.157139	0.683	0.5609586	2.386632	1.344774	0.387	0.6874176	2.630774	1.209546	0.572
その他	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
等価世帯所得										
第1十分位	1.05552	0.933	0.3003932	3.70888	1.21494	0.716	0.3817951	4.059669	1.502042	0.476
第2十分位	1.681483	0.396	0.536655	5.581483	1.481466	0.468	0.475505	4.415603	1.917248	0.234
第3十分位	4.56351	0.022	1.291369	16.78624	1.729352	0.08	0.8803229	9.782517	3.43288	0.033
第4十分位	2.017421	0.262	0.5919612	6.875431	1.728295	0.366	0.5340812	5.252989	2.061865	0.197
第5十分位	3.476949	0.05	0.9982031	12.11021	2.594889	0.118	0.7884179	8.253279	2.890097	0.061
第6十分位	3.590899	0.048	1.069514	12.24267	2.98133	0.068	0.9223802	9.636293	3.673455	0.021
第7十分位	3.477041	0.05	1.002679	12.05752	2.808872	0.083	0.8723853	9.043897	4.083836	0.014
第8十分位	2.376948	0.17	0.6905653	8.181174	1.939738	0.271	0.5984212	6.229305	2.357897	0.129
第9十分位	5.007695	0.016	1.35256	18.54041	4.083126	0.026	1.179291	14.13725	5.022976	0.007
第10十分位	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
生活保護の受給										
受けている	22.17268	0.007	2.35051	208.7547	13.73439	0.006	2.148106	87.81391	10.9636	0.01
受けていない	68.21655	0.007	3.092217	150.642	40.6871	0.01	2.38369	683.8427	38.04782	0.011
無回答	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
健康状態										
よい	1.21303	0.473	0.716015	2.053042	1.195971	0.48	0.7289579	1.964498	1.042738	0.867
まあよい	1.047518	0.852	0.6439231	1.704077	1.040217	0.866	0.658487	1.64824	0.9578576	0.853
普通	1.290197	0.479	0.636704	2.614392	1.287569	0.444	0.6738979	2.460798	0.9834336	0.958
あまりよくない	0.5724202	0.469	0.126329	2.593742	0.7383326	0.681	0.1741083	3.131011	0.7077412	0.632
よくない	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
健康上の問題による制限										
非常に制限があった	1.866862	0.401	0.4976311	5.71787	1.289091	0.724	0.3768477	4.073104	1.307386	0.636
制限があったがひどくはなかった	1.923178	0.298	0.5866254	6.597302	1.346987	0.027	0.4065885	4.456464	1.64501	0.381
まったく制限はなかった	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
精神的な健康										
所見なし	1.295542	0.196	0.8750273	1.918145	1.280685	0.218	0.8718192	1.828943	1.320308	0.121
心理的ストレス反応相当	0.7144656	0.251	0.4222193	1.208965	0.7582706	0.261	0.4682136	1.22802	0.8396699	0.468
気分・不安障害相当	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無	0.5323561	<0.001	0.376281	0.7531685	0.5422986	<0.001	0.3917058	0.7507874	0.4997389	<0.001
予備なし	1.855791	0.015	1.106388	2.588619	1.82886	0.002	1.24619	2.683964	1.824949	0.002
家族のやりくり	0.9715835	0.918	0.562619	1.677864	1.178294	0.932	0.7300948	1.901447	1.217208	0.416
やや重い	1.222441	0.321	0.6619463	2.257528	1.345724	0.286	0.7802919	2.32089	1.362993	0.251
負担はない/感じない	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
0	0.7891448	0.488	0.4041722	1.540803	0.8438013	0.519	0.4843872	1.4699	0.7929425	0.476
1	0.173	0.173	0.19451	1.342808	0.3645243	0.046	0.1354925	0.9807032	0.4478455	0.088
2	0.5519881	0.282	0.1869251	1.62969	0.2597994	0.018	0.0850606	0.793502	0.6566184	0.397
3	ref.		ref.		ref.		ref.	ref.	ref.	
就業の場合：脚先での呼称										
正規	1.170822	0.509	0.7392963	1.871042	1.176597	0.466	0.7597848	1.8207	1.06229	0.688
アルバイト	0.8089731	0.419	0.4431444	1.478904	0.7555858	0.32	0.4351035	1.312125	0.8128501	0.459
派遣	0.9386104	0.917	0.2895855	3.247108	1.052718	0.885	0.3051189	3.632101	1.021666	0.972
契約・嘱託	1.728628	0.071	0.9546775	3.134364	1.601065	0.071	0.9572059	2.882492	1.533448	0.112
その他	1.461983	0.196	0.8224659	2.592608	1.468118	0.116	0.8856292	2.907617	1.21312	0.466
就業の場合：脚先の規模：官・1-4人										
5-29人	2.619158	<0.001	1.687064	4.115014	2.681497	<0.001	1.75629	4.094099	2.376498	<0.001
30-99人	4.761073	<0.001	2.685911	8.408221	4.921904	<0.001	2.890638	8.377792	4.647124	<0.001
100-299人	6.368654	<0.001	3.382424	12.06265	8.555827	<0.001	3.229659	10.54492	5.36337	<0.001
300-499人	4.759131	0.001	1.974052	11.47352	4.558871	<0.001	1.98962	10.45045	3.828121	0.001
500-999人	7.065754	<0.001	2.789175	19.6889	6.07656	<0.001	2.498673	14.78951	5.401859	<0.001
1000-4999人	6.945111	<0.001	2.505162	19.2707	6.24891	<0.001	2.43846	16.01121	7.088376	<0.001
5000人以上	8.300226	0.001	2.353944	29.2453	6.25894	0.001	2.143004	19.89995	6.85981	0.001
官公庁	20.7124	<0.001	4.023397	106.6219	16.40273	<0.001	3.871142	69.50137	16.38276	<0.001

難度)」のモデル以外では見られなかった(図表10)。60~74歳については健康診断の受診状況に影響したのは、過去1年間の受診・治療経験、預貯蓄の有無、勤め先の規模・官公庁の別であり、相対的はく奪の程度による影響は「相対的はく奪(最低限生活水準)」のモデル以外では見られなかった(図表11)。

さらに、働かない者の中で求職中の者と非求職・学生の者を検討した(図表12, 図表13)。求職中の者において、年齢が高い者、配偶者のいる者、学歴が大学以上の者、等価世帯所得が第VII十分位、第X十分位の者、過去1年間の受診・治療経験のある者、健康保険に加入している者の健康診断の受診状況が良かった一方で、相対的はく奪の程度による有意な影響は見られなかった(図表12)。非求職・学生の者において、年齢の高い者、学歴が大学以上の者、健康上の問題による制限の比較的少ない者、過去1年間の受診・治療経験のある者、健康保険に加入している者、預貯蓄のある者の健康診断の受診状況が良く、相対的はく奪の程度が悪いほうが(「相対的はく奪(全項目)」の標準偏差1~2単位と2~3単位、「相対的はく奪(生活困難度)」の標準偏差3単位以上)未受診のリスクが高かった(図表13)。

考察

本研究は社会疫学の視点から健康診断受診の影響要因を生活・就業の様相がそれぞれ異なる年齢層で検討した。健康診断の受診の影響要因について、全員のモデルにおいて有意差が示されたのは相対的はく奪の程度のほか、年齢、性別、学歴、配偶者の有無、等価世帯所得、健康上の問題による制限、過去1年間での受診・治療経験、健康保険の有無、預貯蓄の有無、就業・非就業であった。年齢層ごとにそれぞれの健康診断受診の影響要素が異なり、高齢の者はそうでない者と比べれば、性別、等価世帯所得による影響、「相対的はく奪(生活困難度)」及び「相対的はく奪(最低限生活水準)」のモデルにおける相対的はく奪の程度が有意に見えない傾向があるものの、家計のやりく

りが大変なほど健康診断の受診状況が悪かった。現在就業している者では40歳以下、40~59歳、60~74歳の年齢層のモデルにおいていずれも頑健的な有意差が示されたのは過去1年間の受診・治療経験と勤め先の規模・官公庁の別であり、相対的はく奪の程度による影響は比較的小さかった。就業していない者、求職中及び非求職・学生の者においては、年齢、大学以上の学歴、過去1年間の受診・治療経験、健康保険の加入が健康診断の受診に有意な影響があった。

本研究の分析では、相対的はく奪の程度を所得分布を補完する貧困・社会経済的格差の指標として取り扱い、相対的はく奪の程度健康診断の受診行動への影響を検討した。相対的はく奪は元々、ある程度の生活水準を維持するために必要なもの、サービスに対する社会的嗜好、相対的な所有により貧困・社会的格差を検討するアプローチであり、画一的な指標とカットオフ値を定めるのが難しく、むしろ即時的な社会経済的状況と生活水準に基づき「相対的」ととらえるのが現実的と考えられる。したがって、本研究では調査で網羅した関連項目のほか、先行研究の結果である生活困難度及び最低限の生活水準にかかわるはく奪の項目をベースにそれぞれ変数を作成して検討した(阿部2004, 阿部2014)。そのため指標の「相対性」と統一した尺度がないことによる変数作成の恣意性は本分析の限界でもある。

結果から見れば、相対的はく奪の程度による影響は調査対象全員において有意であった一方で、年齢層、就業状態によって異なるのである。高齢でない者と比べて、高齢の者における影響が有意ではなく、また、就業している者、求職中の者、非求職・学生の者それぞれのサブグループについて見れば、有意な影響が薄い傾向があった。この結果は国民全体のすべてのライフステージをカバーする健康診断が充実する中、各年齢層の生活・就業の様相、健康行動のパターンが健康診断の受診行動に根本的な影響を与えていることが示唆された。

各年齢層の生活・就業の様相、健康行動のパターンについて具体的に言えば、本研究では年齢

図表12 健康診断受診の影響要因（求職中の方）

	相対的はく奪（全項目）		相対的はく奪（生活困難度）		相対的はく奪（最低生活水準）	
	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値	Odds Ratio	p値
健康診断の受診						
40歳以下	ref.		ref.		ref.	
40-59歳	2.462769	<0.01	2.43253	<0.01	2.294133	<0.01
60-74歳	5.463734	<0.001	3.356602	<0.001	4.998977	<0.001
75歳以上	4.794443	<0.001	2.522554	<0.001	5.331858	<0.001
性別						
男性	ref.		ref.		ref.	
女性	1.075078	0.669	1.07588	0.641	1.088589	0.594
配偶者の有無	ref.		ref.		ref.	
いない	1.374697	0.07	1.400996	0.037	1.399813	0.04
いる	ref.		ref.		ref.	
学歴						
小・中学校	1.377457	0.213	0.8325686	2.278957	1.382241	0.168
高校	1.19884	0.607	0.5991754	2.402684	1.2602	0.48
短大・高専	1.868106	0.045	1.044311	3.446584	1.855683	0.03
大学・大学院	2.709665	0.004	1.382473	5.410978	2.386786	0.006
その他	ref.		ref.		ref.	
等価世帯所得						
第I十分位	0.9662723	0.916	0.5113085	1.826064	0.8497915	0.582
第II十分位	0.9462982	0.866	0.5187217	1.732784	0.9695502	0.914
第III十分位	1.186841	0.594	0.6327259	2.282227	1.11768	0.708
第IV十分位	1.341595	0.373	0.702611	2.55933	1.182828	0.587
第V十分位	0.9537589	0.879	0.5176578	1.752757	0.8190545	0.502
第VI十分位	2.707389	0.005	1.348698	5.434838	2.167023	0.018
第VII十分位	1.251967	0.523	0.6283247	2.494605	1.133446	0.695
第VIII十分位	1.424973	0.311	0.718669	2.82543	1.289291	0.441
第IX十分位	3.188805	0.009	1.337319	7.616629	2.9636	0.009
第X十分位	ref.		ref.		ref.	
生活保護の受給						
受けていない	0.8765864	0.867	0.1885872	4.074527	0.7383805	0.646
受けている	3.884629	0.363	0.0507315	2.974552	0.4633783	0.412
無回答	ref.		ref.		ref.	
健康状態						
まあよい	0.7361047	0.23	0.4463466	1.215959	0.8964954	0.648
普通	0.9359937	0.781	0.586848	1.492864	0.9608016	0.859
あまりよくない	0.6925357	0.246	0.3721419	1.288771	0.6699503	0.168
よくない	0.5132506	0.183	0.1924907	1.368798	0.6836652	0.369
健康上の問題による制限						
非常に制限があった	1.088876	0.817	0.5304652	2.253366	1.153853	0.672
制限があったがひどくはなかった	1.016723	0.985	0.4865526	2.124591	1.085656	0.812
まったく制限はなかった	ref.		ref.		ref.	
精神的な健康						
心理的ストレス反応相当	0.8085498	0.266	0.556009	1.175795	0.8018789	0.208
気分・不安障害相当	0.7185861	0.131	0.4681177	1.103068	0.7787115	0.213
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無						
した	0.6250221	0.008	0.4428081	0.8822167	0.6035478	0.002
しなかった	ref.		ref.		ref.	
健康保険の有無						
あり	1.631193	0.107	0.8995655	2.957862	1.926323	0.018
なし	ref.		ref.		ref.	
預貯金の有無						
貯蓄なし	1.292851	0.211	0.8647735	1.932835	1.166599	0.404
貯蓄あり	ref.		ref.		ref.	
家計のやりくり						
とても重い	1.20937	0.396	0.7796768	1.875873	1.168686	0.438
やや重い	1.159145	0.564	0.7018066	1.914511	1.184689	0.473
負担はない/感じていない	ref.		ref.		ref.	
相対的はく奪						
0	0.9040249	0.759	0.4751106	1.720149	0.8267894	0.423
1SD+	0.8278219	0.631	0.3831745	1.788452	0.9712438	0.96
2SD+	1.385531	0.456	0.5879276	3.26193	1.577328	0.275
3SD+						

図表13 健康診断受診の影響要因（非求職・学生の方）

	健康診断の受診		相対的はく奪（全項目）		相対的はく奪（生活困難区間）		相対的はく奪（最低生活水準）	
	Odds Ratio	p値	95%信頼区間	Odds Ratio	p値	95%信頼区間	Odds Ratio	p値
年齢								
40歳以下	ref.			ref.			ref.	
40-59歳	0.768296	0.056	0.574633	1.007351	0.018	0.5483084	0.9453107	0.6888711
60-74歳	1.847376	<0.001	1.433309	2.377743	<0.001	1.326169	2.159105	1.34855
75歳以上	1.567175	0.001	1.193471	2.057894	0.004	1.131476	1.90864	1.481693
性別								
男性	ref.			ref.			ref.	
女性	0.9967617	0.987	0.8540806	1.163279	0.801	0.846773	1.137098	0.9447422
配偶者の有無								
いない	ref.			ref.			ref.	
いる	1.073007	0.398	0.9111265	1.263649	0.174	0.9534549	1.300912	1.111067
学歴								
小・中学校	ref.			ref.			ref.	
高校	1.13778	0.227	0.9227827	1.402868	0.254	0.9212546	1.36404	1.124368
短大・高専	1.137099	0.395	0.8456208	1.529047	0.426	0.8457538	1.48748	1.086453
大学・大学院	1.738131	<0.001	1.333533	2.285487	<0.001	1.293629	2.140615	1.679459
その他	0.8946348	0.506	0.6453173	1.241108	0.297	0.6222264	1.155668	0.8781696
等価世帯所得								
第I十分位	ref.			ref.			ref.	
第II十分位	1.206402	0.257	0.8719345	1.669169	0.304	0.8645761	1.593293	1.105425
第III十分位	0.8588975	0.321	0.636393	1.159467	0.07	0.5821722	1.021246	0.7828414
第IV十分位	1.20633	0.223	0.8919889	1.631446	0.75	0.78769	1.392994	1.083468
第V十分位	1.049496	0.747	0.7828433	1.406875	0.647	0.7096417	1.237556	0.9751739
第VI十分位	1.132045	0.42	0.8372388	1.530658	0.842	0.7733429	1.370863	0.9688176
第VII十分位	0.9121263	0.559	0.6701332	1.241506	0.165	0.6058582	1.089102	0.8021796
第VIII十分位	1.089053	0.593	0.7963114	1.489412	0.983	0.7398318	1.347843	1.003134
第IX十分位	1.273484	0.134	0.9284473	1.746745	0.321	0.8616284	1.578167	1.227212
第X十分位	1.417962	0.052	0.9973985	2.016042	0.12	0.8352244	1.820297	1.383342
生活保護の受給								
受けている	ref.			ref.			ref.	
受けていない	1.395089	0.33	0.7137236	2.728927	0.178	0.8253564	2.811596	1.35001
無回答	1.985094	0.22	0.6641099	5.933655	0.081	0.894621	6.634833	2.201248
健康状態								
よい	ref.			ref.			ref.	
まあよい	0.9778481	0.853	0.7710141	1.240168	0.9865745	0.908	0.7843013	1.241014
普通	0.8756623	0.243	0.70066	1.094374	0.377	0.7324481	1.125105	0.9433594
あまりよくない	0.6750782	0.008	0.505043	0.9023626	0.008	0.5210152	0.9058162	0.7057317
よくない	0.7261745	0.166	0.4618968	1.141661	0.133	0.4708939	1.104886	0.8072128
健康上の問題による制限								
制限があったがひどくはなかった	ref.			ref.			ref.	
制限があったがひどくはなかった	1.450316	0.014	1.078281	1.950713	0.008	1.106912	1.941508	1.589809
精神的健康								
精神的な健康								
見なし	ref.			ref.			ref.	
心理的ストレス反応相当	1.021026	0.804	0.8666049	1.202964	1.049151	0.55	0.8962913	1.22808
気分・不安障害相当	0.932185	0.951	0.7992804	1.234214	1.051428	0.635	0.8546903	1.293452
過去1年間に、病院や診療所での受診や治療の有無								
した	ref.			ref.			ref.	
しなかった	0.6269095	<0.001	0.5342235	0.7356761	0.6189027	<0.001	0.5308969	0.721264
健康保険の有無								
なし	ref.			ref.			ref.	
あり	1.862431	<0.001	1.439667	2.409343	1.819414	<0.001	1.425027	2.322951
預貯金の有無								
貯蓄なし	ref.			ref.			ref.	
貯蓄あり	1.241447	0.049	1.000651	1.540842	1.305968	0.01	1.068615	1.598732
家計のやりくり								
とても重い	ref.			ref.			ref.	
やや重い	0.9127449	0.476	0.71021	1.173038	0.9541391	0.692	0.756452	1.203489
負担はない/感じていない	0.9273774	0.576	0.7121538	1.207645	1.031483	0.906	0.8052483	1.321279
相対的はく奪								
0	ref.			ref.			ref.	
1SD+	0.6644926	0.018	0.4731476	0.932193	1.062365	0.686	0.7926014	1.423943
2SD+	0.5844336	0.048	0.3434021	0.9946434	1.138223	0.739	0.5318616	2.435882
3SD+	0.8955458	0.735	0.4725026	1.69735	0.4275325	0.018	0.2113187	0.8649686

が高い者、大学及びそれ以上の学歴が持つ者、配偶者のいる者、過去受診・治療経験のある者、就業している者、健康保険に加入している者、就業している者において正規雇用の者が健康診断の受診状況が良いという結果が先行研究と整合的である（泉田・黒田2014、山田2003、Inui et al, 2017、社会階層と健康政策提言ワーキンググループ2015）。そのほか、本研究の結果では、健康上の問題による制限のない者、就業している者において規模の大きい会社・官公庁で勤務する者の受診状況が良い傾向が示された。

相対的はく奪の全項目、生活困難度、最低限の生活水準の項目でそれぞれ作成した相対的はく奪の程度の変数は若干敏感度が異なり、相対的はく奪・全項目は標準偏差が比較的に低いレベルで敏感であること（全体、高齢者でない者、高齢者、非求職・学生）に対し、相対的はく奪・生活困難度は標準偏差が比較的に高いレベルで、特に3単位以上が敏感と思われた（全体、高齢者でない者、就業者・60～75歳、非求職・学生）。相対的はく奪・最低限の生活水準は被調査者全体及び高齢でない者においてすべての標準偏差レベルについて有意差が出ており、はく奪のレベルが高いほど健康診断の受診が悪くなると考えられた。相対的はく奪・全項目が生活の全般をカバーすることに対し、相対的はく奪・最低限の生活水準の項目はすでに妥当性が検証されており（阿部2014）、本研究の分析でもはく奪のレベルの高さに伴う健康診断の受診の低下を反映する敏感度が比較的の高い結果が確認できた。

結論

本研究はマルチレベル分析により「生活と支え合い調査2017」の被調査者全員及び年齢層、就業・非就業別の健康診断受診の影響要因、特に相対的はく奪指標の有意性を分析した。本分析の社会全体、65歳以下の者全体について相対的はく奪指標による健康診断受診行動の予測に有用である。年齢層と就業状況を分解して見ると、高齢の者、就業者、求職中の者、非求職・学生のような

サブグループそれぞれにおいてその有意性が比較的希薄で、代わりに相対的はく奪の土台である生活・就業の様相、健康行動のパターンにかかわる影響要因、いわゆる健康の社会的決定要因の関連が確認できた。日本国内の政策形成に応用する相対的はく奪指標の関連研究が進むにつれて、今後社会全体及び各サブグループを対象としたはく奪アプローチによる健康診断を含む保健医療サービスの受診行動、健康行動の分析は貧困・社会経済的格差による健康格差の拡大にかかわる施策に寄与することが期待される。

参考文献

- 阿部 彩。日本におけるはく奪指標の構築に向けて：相対的貧困率を補完する指標の検討。社会保障研究2014；49（3）：360-371。
- 。相対的剥奪の実態と分析：日本のマイクロデータを用いた実証研究。社会政策会誌2006；16（0）：251-275。
- 。日本における社会的排除の実態とその要因（特集 社会的排除と社会的包摂 理論と実証）。社会保障研究2007；43（1）：27-40。
- 。補論「最低限の生活水準」に関する社会的評価。社会保障研究2004；39（4）：403-414。
- 。現在日本の貧困（1）豊かな社会における貧困とは何か。ミネヴァ通信2011；4：40-43。
- 石尾 勝。貧困・社会格差と健康格差への政策的考察。日医総研ワーキングペーパー。2017。
- 泉田信行、黒田有志弥。壮年期から高齢期の個人の健康診断受診に影響を与える要因について——生活と支え合いに関する調査を用いて——。社会保障研究2014；39（4）：408-420。
- 木村好美。健康診断の受診と社会階層。早稲田大学大学院文学研究科紀要第1分冊/早稲田大学大学院文学研究科編。2012；58：35-44。
- 近藤直己。日本の「健康社会格差」の実態を知ろう。平成21年度～平成25年度科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）「現在社会の階層化の機構理解と格差の制御：社会科学と健康科学の融合」研究成果の報告。2014。
- 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会。「健康日本21（第二次）」中間報告書（概要）。2018。
- 社会階層と健康政策提言ワーキンググループ。平成21年度～平成25年度科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）「現在社会の階層化の機構理解と格差の制御：社会科学と健康科学の融合」政策提言書。2015。
- 山田 武。健康診断の受診と情報としての健康診断の価値。医療と社会。2003；13（1）：39-52。

- Inui T, Ito Y, Kawakami A, et al. Empirical study on the utilization and effects of health checkups in Japan. RIETI Discussion Paper Series 17-E-082. 2017.
- Fijita M, Sato Y, Nagashima K, et al. Impact of geographic accessibility on utilization of the annual health checkups by income-level in Japan: A multilevel analysis. PLoS ONE. 2017; 12(5): e0177091.
- Kanchanachitra C, Tangcharoensathien V. Health inequality across prefectures in Japan. Lancet 2017; 390(10101): 1471-3.
- Townsend P. Poverty in the United Kingdom. Allen Lane and Penguin Books. 1979.
- Wilkinson R, Marmot M. Social determinants of health: the solid facts. 2nd Edition. World Health Organization Regional Office for Europe. 2003.

(か^い・じゃくえん)

Relative Deprivation and Utilization of Health Examination: A Cross-sectional Study Using the National Survey on Social Security and People's Life 2017

Ruoyan GAI*

Abstract

Relative deprivation, as measured by the individual experience of being deprived of necessary living materials and conditions which standard is widely accepted in the society, has been increasingly examined to capture poverty and socioeconomic inequality. This study, by using the latest data of the National Survey on Social Security and People's Life, aims to explore factors affecting utilization of health examination, with regard to the impact of relative deprivation on health. As results of the multilevel mixed-effects regression analysis targeting all participants as well as the subgroups relevant to age and working status, relative deprivation are significantly associated to the increased risk of no utilization of health examination during the past year. The indicators are created by referring previous findings. On the other hand, when assessing the subgroups separately, its impacts turn to be less significant. Rather in each subgroup, factors affecting utilization of health examination were those relevant to life, work and health behaviors, such as age, educational background, limited physical capability due to poor health, enrollment in health insurance, previous experience of seeking treatment, working / employment status, and characteristics of the employer. The findings highlight the importance to tailor health promotion strategies by different life stages and socioeconomic status.

Keywords : Relative Deprivation, Health Examination, Health Seeking Behavior, Inequality

* Senior Research Officer Department of Empirical Social Security Research National Institute of Population and Social Security Research